

見学・実習に当たって必要なウイルス性感染症に対する免疫について

当院では、見学者・実習生による患者さんあるいは職員への交差感染を予防するため、当院が定めるハイリスク部署（手術室、集中治療室、小児系病棟、産科系外来・病棟、血液内科外来・病棟）に対しては、下記ウイルス性疾患について、すべての実習者およびハイリスク部署に立ち入る見学者があらかじめ免疫を獲得していることを原則とさせていただきます。従いまして、血清抗体価をご確認いただき、下記の基準を満たしていない場合には、下記の留意事項に従って、見学・実習開始前までに対応を済ませておくようご指導ください。

また、アレルギーや治療、および妊娠のために生ワクチンを接種できない方につきましては、見学・実習方法などに工夫が必要ですので、別途ご相談をお願いします。

ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

疾患名	免疫獲得の基準
麻疹	EIA 法で 16.0 以上
風疹	EIA 法で 8.0 以上
水痘	EIA 法で陽性 (4.0 以上)
流行性耳下腺炎	EIA 法で陽性 (4.0 以上)

*免疫獲得の基準の判断を行う検査法は、EIA 法に限らせていただきます。

<対応にあたっての留意事項>

- 抗体価が基準値以上の場合には、問題ありません。
- 陰性者、あるいは基準値に満たない場合には、以下のようにご対応ください。
 - ✓ 過去の接種歴が 2 回証明できれば、追加接種の必要はありません。
 - ✓ 過去の接種歴が 1 回証明できれば、あと 1 回の追加接種が必要です。
 - ✓ 過去の接種歴が証明できない場合には、1 シリーズ (2 回) の接種が必要です。
 - ✓ ただし、抗体価が基準値に満たない場合には、当該疾病の流行期に限りハイリスクエリアへの立ち入りはできません (非流行期は立ち入り可能です)。